

**令和4年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会  
高松宮記念杯第73回全国高等学校バドミントン選手権大会  
出場校関係者および来場予定のみなさまへ**

令和4年度全国高等学校総合体育大会  
吉野川市実行委員会

今大会は、全国高等学校体育連盟の全国高校総体基本方針【第3版改訂版及び対応方針】、日本バドミントン協会策定の『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン（3章バドミントン競技大会・イベント活動実施にあたって）』を基本とし、徳島県実行委員会ならびに全国高体連バドミントン専門部と協議の上、新型コロナウイルス感染症感染防止のための手立てを講じて下記の通り行います。

1. 大会関係者すべてが新型コロナウイルス感染症予防に努め、大会を進めます。
2. 入場可能人数について（大会エントリー校及び一般観客）  
大会における3密を回避するため、以下のように観客席に一部入場制限を行います。

〇 開会式（7月23日）

学校対抗及び個人対抗の申込用紙に記載されている者のみの入場とします。

その他の方は入場できません。

1) 学校対抗1日目（7月24日）：全会場

各会場での学校対抗エントリー校の申込用紙に記載されている者（ID保有者・専用エリアあり）及び学校対抗エントリー校関係者（最大10名まで。事前に入場チケットを学校対抗エントリー校へ送付）のみとし、その他の方は入場できません。

2) 学校対抗2日目（7月25日）：日本フネン市民プラザ

東側制限エリア：準々決勝進出校関係者（ID保有者および関係者最大10名まで。入場チケットは前日最終戦後に進出校へ主審より配布）

**※男女参加校で進出していないチームは同一校であってもエリア内には入場できません。**

西側観戦エリア：学校対抗敗戦校における抽選を行い、その当選校のID保有者（最大11名）のみ入場できます。その他の方は入場できません。また、落選した学校や待機所としてサテライト会場（最大入場数あり）を設置します。

※抽選について

7月24日の学校対抗敗戦校に対して、準々決勝・準決勝・決勝戦の男女別に観戦希望を募集し、24日の全競技終了1時間後（19時～20時頃予定）を目安に抽選を行います。（抽選結果をホームページへ掲載予定。）

観戦後は入れ替え制となります。（男子チームが女子を女子チームが男子を選択することも可能です。）

3) 個人対抗（7月26・27日）

① 日本フネン市民プラザ

エントリー選手ならびに引率責任者・監督・コーチ・マネージャー・ヒッティングパートナーに専用エリアを設けます。必ず専用受付をお通りください。その他の関係者および一般観客においては、観客席が埋まるまで入場をすることができます。また、観客席に入場できなかった方のためにサテライト会場（最大入場数あり）を設置します。

② とくぎんトモニアリーナ・鳴門アミノバリューホール

エントリー選手の学校関係者（ID 保有者）に ID 専用エリアを設けます。必ず専用受付をお通りください。

専用エリア以外をその他関係者および一般観客に開放します。

※27日の鳴門アミノバリューホールは別に入場制限エリアがあります。

4) 個人対抗（7月28日）：日本フネン市民プラザ

エントリー選手ならびにエントリー選手所属校関係者（ID 保有者）に専用エリアを設けます。必ず専用受付をお通りください。その他の関係者および一般観客においては、26・27日と同様に観客席が埋まるまで入場を認めます。また、観客席に入場できなかった方のためにサテライト会場を設置します。

3. 新型コロナウイルス対応について

（全国高体連新型コロナウイルス感染症及び四国4県の対応方針より引用）

1) 感染者、濃厚接触者、体調不良者、大会参加者の定義

① 感染者

医療機関による診断の結果、感染者と判定された者。感染者の発生日とは症状が出始めた日とし、発症日が不明な場合は陽性と判定された検体採取日とする。

② 濃厚接触者

所管保健所等により濃厚接触者と判断された者。濃厚接触者の発生日とは感染者と接触した日とする。（複数日の場合には大会に最も近い日）

③ 体調不良者

発熱（37.5度以上）や風邪症状（咳、のどの痛み）、だるさや息苦しさ、味覚や嗅覚の異常など全国高体連の基本方針が示す健康チェックシート（様式1）のチェック項目のAからオに該当する者。

④ 大会参加者

大会参加者とは、次のA及びイの者をいう。

A 出場チーム

選手、監督、コーチ及び引率者をはじめ、その他いかなる名称や関係であるかを問わず、活動や移動行程等を同一とする全ての者。

イ 大会関係者

役員、補助員、報道機関、招待者、視察者、競技団体関係者、スポンサー、開催自治体関係者、出店者、観客等、会場に来場する全ての者。

2) 大会参加にあたっての留意点

大会参加者は、安全・安心な大会運営のため、大会期間中のみならず、日頃から体調管理に十分留意すること。

### ① 大会参加前の対応

- ア 大会参加日（来県日）の2週間前から健康チェックシートで健康状態等を毎日記録すること。
- イ 大会参加前2週間の期間において、感染者又は濃厚接触者となった場合は、開催地実行委員会に速やかに報告し、指示に従うこと。
- ウ 出場チームにおいては、1名以上の新型コロナウイルス感染症対応担当者（監督・引率教員の兼務も可）を置き、参加申込の際に開催地実行委員会に報告する。新型コロナウイルス感染症対応担当者は、全国高体連や開催地実行委員会、競技専門部、保健所、保護者等との連絡調整を担うとともに、チーム内での感染者対応や感染防止対策徹底の役割を担うこと。
- エ 感染者、濃厚接触者、体調不良者となった場合、医療機関や療養施設、宿泊施設、自宅までの移動や輸送については参加校の責任で行うこととし、事前に交通手段を決めておくこと。また、医療機関や療養施設、宿泊療養施設において、療養又は待機することになった場合も想定し、その際の滞在方法を事前に決めておくこと。
- オ 新型コロナウイルス感染症対応担当者は、参加する前に保護者やチーム関係者に対し、感染者等が発生した場合には、開催県における付添いや開催県までの迎え、医療機関等において療養等が必要となる場合があることを周知徹底しておくこと。
- カ 感染拡大防止のため、厚生労働省の「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCO A）」及び各地域で取り組まれている通知サービスを活用することが望ましい。

### ② 大会参加期間中の対応

- ア 出発前に自宅や宿舎等において健康チェックシートの調査項目を確認し、体調不良者は会場へ来場しないこと。
- イ 会場受付において、体調不良者を確認した場合は、会場内への入場を許可しないため、大会参加校の責任において速やかに医療機関を受診し、療養又は帰宅等をする事。
- ウ 感染者、濃厚接触者、体調不良者となった場合は、その事実について開催地実行委員会及び当該競技専門部に報告し、指示に従うこと。

### ③ 大会参加終了後の対応

- ア 大会参加終了日から2週間の期間において、感染者となった場合は当該競技専門部に對して速やかに報告すること。
- イ 健康チェックシートの原本について、個人情報の取扱いに注意しながら、保存期間（1か月以上）を定めて保存しておくこと。

### ④ 報告について

開催地実行委員会及び当該競技専門部への報告については、大会参加前、大会参加期間中及び大会参加後のいずれの場合も、速やかに事実を報告するものとする。なお、全国高体連の基本方針若しくは本対応方針に基づく報告をせず、又は虚偽の報告をした場合は、全国高体連が、当該学校名を公表することがあることに留意すること。

虚偽の報告とは、PCR検査等（薬事承認された抗原定量検査及び抗原定性検査を含む。以下同じ。）で陽性の結果や濃厚接触者と判断されたことを隠したり、健康チェックシートに偽りの記載をしたりすること等をいう。

## 3) 大会参加者の参加判断基準

大会参加については、感染拡大を防止し、大会開催可否の判断も含め大会運営において迅速な対応が求められることから、大会参加の参加基準を次のとおりとする。

① 本人の場合

状況	参加基準
<p><b>感染者</b></p> <p>【医療機関による診断の結果、感染者と判定された者。感染者の発生日とは症状が始めた日とし、発症日が不明な場合は陽性と判定された検体採取日とする。】</p>	<p>参加を辞退する。</p> <p>ただし、医療機関等の判断のもと療養等が解除された場合は、参加校学校長の責任において参加可能とする。その際、様式5を競技専門部に提出する。</p>
<p><b>濃厚接触者</b></p> <p>【所管保健所等により濃厚接触者と判断された者。濃厚接触者の発生日とは感染者と接触した日とする（複数日の場合には大会に最も近い日）。】</p>	<p>参加を辞退する。</p> <p>ただし、参加校学校長の責任において①または、②の条件で参加可能とする。その際、様式5を競技専門部に提出する。</p> <p>①「特定された濃厚接触者の待機期間は、当該感染者の発症日、当該感染者が無症状（無症状病原体保有者）の場合は検体採取日又は当該感染者の発症等により感染対策を講じた日のいずれか遅い方を0日目として7日間とし、発病しなかった場合8日目からの参加可能。</p> <p>②4日目及び5日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合、5日目からの参加可能。（①②については、「厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部」による。）</p>
<p><b>体調不良者</b></p> <p>【発熱（37.5度以上）や風邪症状（咳、のどの痛み）、だるさや息苦しさ、味覚や嗅覚の異常など全国高体連の基本方針が示す健康チェックシート（様式1）のチェック項目のアからオに該当する者。】</p>	<p>参加を辞退する。</p> <p>ただし、医療機関等を受診し、非感染者と診断・判定された場合は、体調改善を踏まえたうえで、参加校学校長の責任において参加可能とする。</p>

② 出場チームの場合

状況	参加基準
<p>出場チーム内で感染者が発生した場合</p>	<p>感染者と接触（感染者の感染可能期間（発症2日前～）の接触）のあった最後の日から、濃厚接触者の待機期間とされる日数の間、出場チームは参加を辞退する。なお、感染者、濃厚接触者及び体調不良者は上記「(1)本人の場合」と同様の扱いと</p>

	なる。
出場チーム内で濃厚接触者又は体調不良者が発生した場合	濃厚接触者又は体調不良者は、上記「(1)本人の場合」と同様の扱いとなる。

#### 4) 大会中止や参加辞退等に伴う経費負担

本対応方針に基づき大会中止又は参加辞退となることに伴い、出場チームや保護者、その他大会関係者が支払うPCR等検査料、治療費、宿舍キャンセル料、交通費などの経費については、開催地実行委員会は、一切負担しない。

#### 5) 感染者が出た場合及び大会を中止する場合の報道対応

① 大会参加者の中から感染者が出た場合には、報道発表の方法及び内容について、全国高体連、競技専門部、開催地実行委員会、所属校校長及び感染者滞在先自治体の保健部局と協議を行う。

② 大会中止に関する発表については、全国高体連が発表する。

#### 6) 決定・周知方法

本対応方針は、全国高体連において決定し、各競技専門部及び開催地実行委員会に通知する。

また、基本方針及び本対応方針は大会ホームページ等に掲載し、事前周知を図る。

#### 7) その他

本対応方針は、新型コロナウイルスの感染拡大等の状況により、随時改定を行う。また、その場合「6) 決定・周知方法」によらず、全国高体連と開催地実行委員会がその改定を決定し、各競技専門部及び開催市町実行委員会に通知する。

### 4. IDカードの発行について

今大会、IDカードが発行されるのは大会役員、各都道府県専門委員長、競技役員、運営役員、補助員とチーム関係者および実業団・大学関係者・報道関係者です。

1) チーム関係者でIDカードが発行されるのは、学校対抗参加申込書に記載されている引率責任者【教員】、監督、コーチ、マネージャー、選手7名の最大11名、個人対抗参加申込書に記載されている引率責任者【教員】、監督、選手です。ただし、個人対抗のみに出場するチームの選手については、単は1名分、複は最大2名分のヒッティングパートナー用IDを試合当日までに受付にて申請・登録・承認後に発行します。また、個人対抗のみ臨時コーチのIDも同様に試合当日までに受付にて申請・登録・承認後に発行します。

2) IDが発行されているチーム関係者のうち、引率責任者としてのみの方は学校対抗の競技日は競技フロアに入ることはできません。

3) 練習会場はID保有者および応援生徒のみの入場となりますので、忘れずにIDを提示してください。

※開会式前（ID受け取り前）に関しては受付時の健康チェックシート（様式2学校用）の提出時に人数確認を受けてください。

## 5. 競技中のコーチ席・ベンチ等について

- 1) 学校対抗, 個人対抗ともにコーチ席は1席とします。
- 2) 学校対抗では, 次試合対戦者待機用に座席(最大2席)を準備しますが応援用ベンチは設けません。
- 3) 個人対抗でコーチ席に入れるのはID保有者(引率責任者含む)のみとします。

## 6. 健康チェックシート表の提出について

- 1) 参加校の競技登録生徒と監督・コーチ等は「健康チェックシート(様式1), (様式2学校用)」を公式ホームページよりダウンロードしてください。競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックを行い, (様式2学校用)を大会参加日は学校ごとに毎日提出をお願いします。

※万が一感染が発生した場合に備え, 個人情報の取扱いに十分注意しながら, 「健康チェックシート(様式1)」の個人の原本について, 保存期間(1月以上)を定めて保存しておいてください。

※練習会場で練習する際にも(様式2学校用)を提出して下さい。

- 2) その他学校関係者や一般観客のみなさんは, 各会場にて「健康チェックシート(様式2個人用)」を記入し, 受付に提出(公式ホームページにも掲載予定)してください。

提出時に再入場用のリストバンドをお渡ししますので着用してください。(当日に限り再入場可とします。) ※万が一感染が発生した場合に備え, 必ず連絡先を記入してください。

## 7. その他

- 1) 各係員からの注意喚起に対しては必ずお守りいただき, ご協力をお願いいたします。
- 2) 当日, 体調不良や37.5度以上の発熱がある場合は来場をお控えください。
- 3) 応援中は必ずマスクを着用し, 応援は拍手のみで行ってください。
- 4) 万が一コロナ感染症に罹患した場合は, 直ちに下記連絡先へ連絡してください。

競技期間中連絡先: 080-3491-4160(8:30~19:00)

※対応時間外はSMSで御連絡ください。

競技期間終了後: 0883-22-2275(平日: 9:00~17:00)

- 5) 今後の感染状況により変更となる場合があります。予めご了承ください。

問合せ先

徳島県吉野川市鴨島町鴨島115-1

令和4年度全国高等学校総合大会

吉野川市実行委員会 全国高校総体推進室

担当 松田 善信

TEL 0883-22-2275

Mail: soutai@yoshinogawa.i-tokushima.jp